

## ◆いのち

『ちいさないのち』相原正明／著，小学館【C 2】⇒最古の大陸オーストラリアの大自然を伝える写真絵本。

『マクドナルドさんのやさいアパート』ジュディ・バレット／文，ロン・バレット／画，ふしみみさを／訳，朝北社【E ハ】

⇒アパートの管理人のマクドナルドさんは，空き部屋にやさいを植えて，牛を飼って…。なんだか農場みたいになってしまいましたよ。

『いけいけどんどん！』宇治勲／絵と文，PHP研究所【E ウ】

⇒浜辺で産まれたたくさんの亀の子。鳥やカニや魚に食べられても，「いけいけどんどん！」

『わたしの病院、犬がくるの』大塚敦子／写真・文，細谷亮太／監修，岩崎書店【C 4】

⇒入院している子どもたちのところに，犬がやってくる。ぎゅっとだきしめて犬の温もりを味わう子どもたち。

## ◆動物いろいろ

『どうぶつサーカスはじまるよ』西村敏雄／作，福音館書店【E ニ】

⇒サルの空中ブランコがケガで中止になり，司会者のアザラシは，なんと観客のブタくんを代役に指名しました！

『なんのぎょうれつ？』オームラトモコ／作，ポプラ社【E オ】

⇒ずら〜と並んだ50匹の動物たち。何を待っているのかというと…。

『エルネスト』ヨッヘン・シュトゥアーアマン／作・絵，関口裕昭／訳，フレーベル館【E シ】

⇒犬のエルネストの元に届いた不思議なはがき。エルネストは，それがどこから来たのか確かめる旅に出ました。

## ◆ねこ

『ねこはなんでも知っている』青山友美／作・絵，イースト・プレス【E ア】

⇒「この町のことなら何でも知っている」と豪語する猫“せいじろう”が，町を案内してくれます。

『ねこなんてだいきらい！』末崎茂樹／作・絵，フレーベル館【E ス】

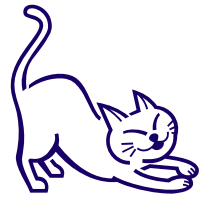
⇒猫が大嫌いな王様が，国中に出した命令とは…？

『ながいなが〜い』かつらこ／さく，くもん出版【E カ】

⇒なが〜いしっぽが自慢のお母さん猫と，21匹の子猫のお話。

『こねこ9ひきぐーぐーぐー』マイケル・グレイニエツ／さく・え，ポプラ社【E ク】

⇒9匹いた子猫が，だんだん減って行って…。楽しく数が学べる絵本。



## ◆かぼ

『パパ、かぼになる』安江リエ／作，飯野まき／絵，偕成社【E ヤ】

⇒「パパってかぼみたい」と言ったら，パパが本物のかぼになっちゃった！

『かぼのブッキくん』ますだゆうこ／さく，おくはらゆめ／え，佼成出版社【E マ】

⇒サバンナに住むのんきなかぼのブッキくんの一日を描いた絵本。

## ◆赤ちゃんが産まれる

『おめでとう』いとうえみこ／文，伊藤泰寛／写真，ポプラ社【E イ】

⇒小さな手。かわいいあくび。うっとりするような赤ちゃんの写真絵本。いとうえみこさんからのメッセージも味わい深いです。

『あかちゃんにあえる日』キンバリー・ウィリス・ホルト／作，キャビ・スヴァトコフスカ／絵，河野万里子／訳，小峰書店【E ホ】

⇒いつになったら，あかちゃんは生まれるの？あかちゃんが生まれたら，何をして遊んであげようかな？

『ベニーはおにいちゃん』パルプロ・リンドグレーン／文，オーラフ・ランドストローム／絵，うらたあつこ／訳，ラトルズ【E リ】

⇒（あかちゃんはいいなあ。おしゃぶりできて。）ベニーは，おとうとのおしゃぶりを取り上げると…。



## ◆赤ちゃん絵本

『パパのるすばん』山本祐司／さく・え，ポプラ社【E ヤ】

⇒家族が一人ずつ留守番をしていく「かぞくえほん」シリーズの一冊です。

『こだぬきおーたはっけよいのこった』かまたのぶこ／さく，童心社【E カ】

⇒はっけよいのこった！大きくて力持ちのお父さんに，おーたは勝てるかな？

『おててたっち』武内祐人／さく，くもん出版【E タ】

⇒おててとおててをやさしくタッチ。『おでこびたっ』『おはなつんつん』につづくシリーズ第3弾。

『うさこちゃんのはじょうさま』ディック・ブルーナ／ぶん・え，まつおかきょうこ／やく，福音館書店【E フ】

⇒うさこちゃんは，女王様になった夢を見て…。

『いつもいっしょ』かさいまり／さく，くもん出版【E カ】

⇒まくんのお気に入りには緑色の毛布です。「いつもいっしょ」…。

『おっぱいいぬ』やまぐちみねやす／作・絵，フレーベル館【E ヤ】

『ぶーぶーぷっぷー』柏原晃夫／作・絵，学研【E カ】



## ◆おいしいもの

『がまんのケーキ』かがくいひろし／作絵，教育画劇【E カ】

⇒ケーキを一緒に食べようと，かえるのけろこさんの帰りを待ちわびる鯉のこいたろうと亀のかめぞうさんは…。

『おはぎちゃん』やぎたみこ／作，借成社【E ヤ】⇒縁側から転がり落ちたのは，おはぎの赤ちゃんでした。

『なすの与太郎』川端誠／作，BL出版【E カ】

⇒「野菜忍列伝」その三。だじゃれ満載です。与太郎じいさんのお友だちにも御注目！

『だっこのおにぎり』長野ヒデ子／作，つちだのぶこ／絵，佼成出版社【E ナ】

⇒「だっこだっこ ママだっこだっこのおにぎり してちょうだい」楽しい歌あそびの絵本です。

## ◆音楽

『「告别」交響曲』アンナ・H. セレンザ／文，ジョーアン・E. キッチェル／絵，藤原千鶴子／訳，評論社【E セ】

⇒王子の避暑に伴って夏の間家族と別れ別れになる楽団員の不満は，日々募っていきます。交渉解決のためにハイドンが作ったのは，今までにない珍しい曲でした。

『英雄』アンナ・H. セレンザ／文，ジョーアン・E. キッチェル／絵，藤原千鶴子／訳，評論社【E セ】

『展覧会の絵』アンナ・H. セレンザ／文，ジョーアン・E. キッチェル／絵，藤原千鶴子／訳，評論社【E セ】

## ◆伝記

『バラク・オバマ』ジョナ・ウィンター／文，AG・フォード／絵，大原敬子／訳，PHP研究所【E ウ】

⇒若くして大統領になったオバマは，少年の頃からいつも自分の居場所を捜し求めていました。

『ダーウィン』アリス・B. マクギンティ／文，メアリー・アゼアリアン／絵，千葉茂樹／訳，BL出版【E マ】

⇒日記や手紙や残されたメモからダーウィンの誠実な人柄が伝わってきます。

『その手に1本の苗木を』クリア・A. ニヴォラ／作，柳田邦男／訳，評論社【E ニ】

⇒ノーベル平和賞を受賞したマータイさんは，1本ずつ苗木を植えていくことを提案しました。

## ◆お仕事

『みみかきめいじん』かがくいひろし／作，講談社【E カ】

⇒みみかき名人のところにやってきたお客さんは、なんと透明人間！はたしてその正体は…！？

『だいくのたこ8さん』内田麟太郎／文，田中六大／絵，くもん出版【E ウ】

⇒たこのたこ8さんは、8本の足を駆使して、どんな依頼にも応えてくれます。

『マジシャンミロのふしぎなぼうし』ジョン・エイジー／さく，石橋洋司／やく，講談社【E ア】

⇒失敗ばかりのマジシャンミロは、クビを言い渡されてしまったのですが…。

## ◆あれ！？

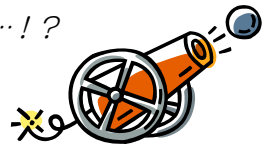
『いっぽんみちをあるいていたら』市居みか／作／絵，ひかりのくに【E イ】

⇒向こうから腰の曲がったおばあさんがやってきたと思ったら、実は…！？

『ぐぎがさんとふへほさん』岸田衿子／さく，にしむらあつこ／え，福音館書店【E キ】

『もっとおおきなたいほうを』二見正直／作，福音館書店【E フ】

⇒王様ときつねの大砲くらべは次第にエスカレートしていき…。



『でっこりぼっこり』高島那生／作，絵本館【E ケ】

⇒巨大人がマラソンを始めました。巨大人って何？足あとがどうなったって…？？

## ◆静かなひととき

『なみ』スージー・リー／作，講談社【E リ】⇒なみと少女の戯れ。2色で表現された言葉の無い絵本。

『みさき』内田麟太郎／文，沢田としき／絵，佼成出版社【E ウ】

⇒みさきを通りかかる「きせん」を見ようとひたすら走る少年。果たして間に合うのでしょうか。

## ◆勇気

『やめて！』デイビッド・マクフェイル／作・絵，柳田邦男／訳，徳間書店【E マ】

⇒暴力がまかり通る戦争の中でも、子どもたちは生きています。

『ブルディパール』ニーゲシュナー／再話 モリス・センダック／絵 さまゆみこ／訳 ハンス・クレーサ／作曲 アドルフ・ホフマイステル／台本 徳間書店【E キ】

⇒子どもたちが、何ができる？子どもだってみんなで助け合えば大きな力になるはず。子どもたちがレシンの強制収容所で真したオペラの絵本化

## ◆ともだち

『おへやだいぼうけん』ほりかわりまこ／作／絵，教育画劇【E ホ】

『ともだちのしるしだよ』カレン・リン・ウィリアムズ，カードラ・モハメッド／作，ダーグ・チャーカ／絵，小林葵／訳，岩崎書店【E ウ】

⇒舞台は、ペシャワール難民キャンプ。救援物資で手に入れたサンダルをきっかけに会った、少女たちの友情を描いた絵本。

## ◆おばけ

『おばけなんてないさ』せなけいこ／絵，槇みのり／作詞，峯陽／作曲，ポプラ社【E セ】

⇒童謡「おばけなんてないさ」が絵本になりました。楽譜つき。

『おばけやしきにおひっこし』カズノ・コハラ／作，石津ちひろ／訳，光村教育図書【E コ】

⇒魔女のマージョリィは、おばけをつかまえて洗濯し、干してカーテンにしたりお布団にしたり…。

『本所ななふしぎ』斉藤洋／文，山本孝／絵，偕成社【E サ】

⇒「おいてけぼり」など、怖くて奇妙な怪談7話が、短い文章で余韻たっぷりに描かれています。



## ◆のりもの

『サラちゃんとおおきなあかいバス』ジェーン・ゴドウィン／文、アンナ・ウォーカー／絵、石津ちひろ／訳、光村教育図書【E コ】

⇒おねえちゃんが風邪で学校をお休みしたため、サラちゃんはひとりでバスに乗ることになりました。

『やまのバス』内田麟太郎／文、村田エミコ／画、佼成出版社【E ウ】

⇒廃線になるバスを、森の動物たちが救ってくれるおはなしです。

『トロトローリ』高部晴市／作／絵、教育画劇【E タ】

⇒バスはモグラの穴を走り、犬の口の中を走り、おじさんの頭の上を走り…！

『ありがとうしょうぼうじどうしゃ』内田麟太郎／文、西村繁男／絵、ひかりのくに【E ウ】

⇒「おでんさむらい」シリーズや『がたごとがたごと』でおなじみの名コンビの作品。

## ◆クリスマス

『おたすけこびとのクリスマス』なかがわちひろ／文、コヨセ・ジュンジ／絵、徳間書店【E ナ】

⇒「おたすけこびと」シリーズ第2弾。働く車を駆使して、プレゼントを届けます。

『クリスマスのおかいもの』たしろちさと／作、講談社【E タ】

『クリスマスのかね』レイモンド・M・オールデン／原作、竹下文子／文、山田花菜／絵、教育画劇【E オ】

⇒「すばらしい贈り物をしたときにだけ鳴る」という言い伝えのある、教会の鐘を鳴らすことが出来たのは…？

## ◆希望

『きぼう』ローレン・トンプソン／作、千葉茂樹／訳、ほるぷ出版【E ト】

『少年の木』マイケル・フォアマン／作・絵、柳田邦男／訳、岩崎書店【E フ】



## ◆孤独

『あの路』山本けんぞう／文、いせひでこ／絵、平凡社【E ヤ】⇒三本足の野良犬と親の無い少年の心の通い合い。

『いつか空のうで』アンドレア・ペトルリック・フセイノヴィッチ／作・絵、まえざわあきえ／訳、小学館【E ハ】

⇒ひとりぼっちの女の子は、おかあさんとの大切な思い出を、ひとつまたひとつと取り戻していきました。

## ◆昔ばなし

『ももうりとのさま』松谷みよ子／文、堀川理万子／絵、ハッピーオウル社【E マ】

⇒山形に残る話をもとにして描かれました。「絵姿女房」と言うほうが馴染みのある人も多いかも。

『ふくろのなかにはなにがある？』ポール・ガルドン／再話・絵、こだまともこ／訳、ほるぷ出版【E カ】

⇒キツネはハチを捕まえて袋に入れました。そしておばさんに袋を預け、絶対に中をのぞくなと言い置いて出かけていきます。

『かしこいモリー』ウォルター・デ・ラ・メア／再話、エロール・ル・カイン／絵、中川千尋／訳、ほるぷ出版【E テ】

『1つぶのおこめ』デミ／作、さくまゆみこ／訳、光村教育図書【E テ】

⇒1日目は1粒、2日目は倍の2粒、3日目はその倍の4粒のお米をもらいました。さて、30日目には何粒になっている？

## ◆ことば

『ぐりとぐらのおまじない』なかがわりえこ／さく、やまわきゆりこ／え、福音館書店【E ナ】

⇒手のひらサイズのかわいらしい絵本。『ぐりとぐらのしりとろうた』もどうぞ。

『さかさことばのえほん』小野恭靖／作、高部晴市／絵、鈴木出版【E オ】

⇒本をさかさにしても絵を見ることができる回文の絵本です。

## ◆アート

『きりのなかのサーカス』ブルーノ・ムナーリ／作、谷川俊太郎／訳、フレーベル館【E ム】

⇒トレーシングペーパーのきりをめくると、そこには不思議な世界が待っています。

『水おとこのいるところ』イーヴォ・ロザーティ／作、ガブリエル・パチェコ／絵、田中桂子／訳、岩崎書店【E ロ】

⇒じゃぐちから出てきた水は、人の形をした「水おとこ」になりました。町を駆け抜け水溜りに隠れ、いつしか空の水色に溶けていきそうです。

## ◆シリーズ

『まめうしくんとものまね～』あきやまただし／作・絵、PHP 研究所【E ア】

⇒まめうしくんと一緒に、色んな物になりきってみよう！

『エルマーのとくべつな日』デビッド・マッキー／ぶんとなえ、きたむらさとし／やく、BL出版【E マ】

⇒年に一度の「エルマー」の日に向けて、ぞうたちはおおはしゃぎ。

『ミスター・ベンとおおきなえもの』デビッド・マッキー／作、まえざわあきえ／訳、朔北社【E マ】

『アンジェリーナのバースデイ』キャサリン・ホラバード／文、ヘレン・クレイグ／絵、おかだよしえ／訳、講談社【E ホ】

⇒アンジェリーナが誕生日を迎えるまでのドキドキわくわくが描かれます。シリーズ第8弾。

『チャレンジミッケ！ 6』ウォルター・ウィック／作、糸井重里／訳、小学館【E ウ】 ⇒第6弾は「こわーいよる」。

『旅の絵本 7』安野光雅／〔著〕、福音館書店【E ア】

⇒舞台は中国。北宋の時代の「清明上河図」にならって、黄河を遡っていくという道順で描かれています。



## ※参考 子どもの気持ちを理解するために

『犬に本を読んであげたことある？』今西乃子／文、浜田一男／写真、講談社【019.5 106 イ】

⇒子どもたちは、やさしい目でじっとみつめる犬を相手に、夢中で本を読み聞かせします。なぜかわかりますか？

『天井に星の輝く』ヨハンナ・ティデル／〔著〕、佐伯愛子／訳、白水社【949.8 109 テ】

⇒恋と友情に揺れ動く少女には、誰にも知られたくない秘密がありました。それは自分の母親がガンで、もう長くないということ。

